

瀬田川プランクトン調査結果速報

～第12報～

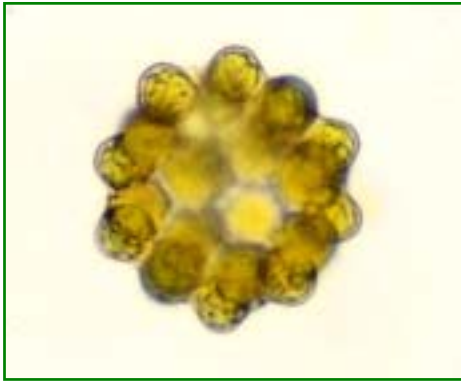
滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

平成14年6月17日

1. 最も数が多かった種類（優占種）

植物プランクトン第1優占種



Coelastrum microporum

（ケラスツルム）

緑藻綱

群体の形は、球形で4-8-16-32個の細胞からなる。細胞は、球形で細胞壁には突起などを持っていない。広分布種とされる。

動物プランクトン第1優占種



Bosmina longirostris

（ゾウミジンコ）

甲殻類

体は丸みを帯び、吻端の第1触角が長い
ためゾウミジンコと呼ばれている。

コメント

今回の調査では、植物プランクトンが非常に少なく、動物プランクトンはゾウミジンコが非常に多かった。ゾウミジンコが増加し始めたのは6月10日であり、増加に伴い植物プランクトンは減少した。

2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

（1）動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
甲 殻 類	<i>Bosmina longirostris</i>	15000

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当

平成14年6月17日

第12報

(2) 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(珪) <i>Melosira varians</i>	2		
(緑) <i>Oocystis solitaria</i>	10		
(緑) <i>Coelastrum microporum</i>	32		
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	5		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	4		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	2	3.8	1.9
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	51	96.2	98.1
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	53	総体積 (μm^3)	2.08E+05
種 類 数	5		

- 注1) 細胞数の単位は(細胞 / ml)
ただし*印の種は群体数(群体 / ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位: %)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。